

017

災害に備え義歯の 3D データを無料で保管する「入れ歯銀行」

取組主体

株式会社お守り入れ歯

従業員数

想定災害

実施地域

2 人

全般

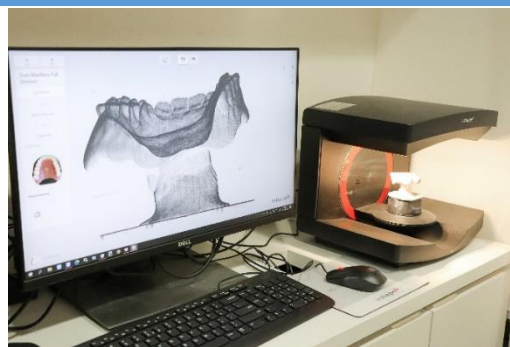
全国

・災害に備えて、義歯の 3D データを無料で保管するサービス「入れ歯銀行」を全国提携先の 23 歯科医院で提供している。

1 取組の概要

災害に備え義歯の 3D データを無料で保管

- ・北海道で歯科技工所の運営等をおこなう株式会社お守り入れ歯は、2023 年 2 月、災害に備え義歯の 3D データを無料で保管するサービス「入れ歯銀行」を全国で開始した。
- ・「入れ歯銀行」では、義歯の形状を 3D データ化し、3 箇所の地域に分散した複数のサーバーで保管するサービス。3D データの製作には 30 分程しかかからず、提携歯科医院以外の歯科医院で製作した義歯にも対応する。



入れ歯のスキャンデータ

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

ネーミングを工夫

- ・災害に備え、できる限り多くの人に入れ歯銀行を利用してもらいたいが、高齢者の多くは、昨今、進むデジタル化についていけない人も多い。そこで、名前に高齢者でも日常的に利用する「銀行」という言葉を入れ、身近に感じてもらえるようにした。

無料へのこだわり

- ・他のほとんどの歯科医院では、データの製作や保管は有料であり、提携歯科医院からも有料とするべきであるといった意見をいただいているが、災害に備え、できる限り多くの人に利用してもらうために、あくまでも無料でのサービス提供にこだわっている。また無料にすることで、メディアに取り上げられたりと、取組自体の発信力を高めていく効果もあると考える。
- ・ただ、保管された 3D データに基づいて実際に義歯を製作する際には、データの引き出し手数料と義歯の製作料がかかる仕組みとしている。

3 取組の効果

- ・現在、入れ歯銀行の提携先は 23 歯科医院になっている。
- ・平時においても、飼い犬に義歯を噛まれ破損したり、義歯を紛失したりした場合に、数日で新しい義歯を提供できている。

4 取組への想い

東日本大震災では 5 人に 1 人が義歯を失った

- ・同院も被災し、災害時の義歯利用者の生活について考えるようになった。災害で義歯を失えば、義歯利用者の生活は非常に不便なものになる。しかし、義歯はその人に特有のものであり、国や自治体が代わって災害に備えることはできない。そのため、義歯については、国民一人一人が自分で災害に備えるしかない。
- ・一方で、被災後に新しい義歯を製作しようとしても、大規模な災害時には、歯科医院自体が被災することも多く、さらに義歯を一から作り直すと、相当な時間がかかり、義歯なしで生活する期間が長くなってしまふ。
- ・この点、義歯の形状を記録した 3D データがあれば、通院不要なため被災地以外の場所で 3D プリンターを使い短期間で義歯を作り直すことができるのでは、と入れ歯銀行のサービスを始めた。通常 1 週間、早ければ 2~3 日程で新しい

国土強靱化

義歯が届き、災害で義歯を失った義歯利用者の生活の質を向上させることができる。また、日本で大規模な災害が起こったとしてもシステム継続に影響のない海外の複数サーバーで保管しておくことで、いつでもデータが取り出せるようになっている。

5 防災・減災以外の効果

多くの利用者が予備の義歯を製作

- ・災害への備えとして始めたサービスではあるが、平時においても、多くの利用者が「破損や紛失に備えて」「夜、寝るときに使う」「義歯を洗浄するときに使う」などの理由から予備の義歯の製作を希望している。
- ・これらのなかでも、特に注目したいのは、義歯を洗浄するときに予備の義歯を使うという活用方法である。十分に時間をかけて洗浄した清潔な義歯を使用することで誤嚥性肺炎のリスクを減らすことができるとともに、洗浄中でも予備の義歯を使うことで家族とのコミュニケーションを増やすことができる。

提携歯科医院のイメージアップにも貢献

- ・災害に備えるための無料の取組なので、社会貢献している歯医者さんとして、提携歯科医院等のイメージアップにもつながっている。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・「入れ歯銀行」等の義歯製作の概念について歯科業界や一般の方の認知度を上げていきたく必要があり、啓発活動や広報活動に注力していきたい。
- ・現在、3D データを使った義歯の製作は保険適用外だが、最低限、大規模災害時には、特例措置として、保険適用を目指したい。関連する法的手続きや協力体制の整備が必要になるだろう。
- ・提携歯科医院を増やしていくと共に、大規模災害時に 3D データから義歯を製作してくれる提携歯科技工所を増やし、大規模災害時にも対応できるような提携歯科技工所を増やしていきたい。
- ・高齢者施設について、訪問歯科医療をおこなっている歯科医師と協力し、施設への啓蒙活動も行いながら、全ての高齢者施設に入れ歯銀行を導入していきたい。

7 周囲の声

- ・「これまでも何回も義歯を失くし、その度に一から作っていた。通院は大変で苦痛で仕方がなかった。今はデータを預けているので失くしてもすぐに作れる安心感で、気持ちが楽になった。」（利用者）
- ・「無料だったので気軽にできた。」（利用者）
- ・「将来的に患者だけではなく、歯科業界や介護の現場で、多大な恩恵を得られる可能性があると思う。不測の事態が生じて、速やかに比較的低予算で義歯が作れる。」（提携歯科医院）
- ・「介護の現場では義歯に関するトラブルが少なくない。その度に現場のスタッフやご家族が対応に時間を取られる。その解決方法の一つとして入れ歯銀行は有効だと感じている。」（高齢者施設運営会社）

担当者の声

- ・日常生活において使い慣れた義歯を破損・紛失する可能性は常にある。予備の義歯を一口で言うならば「安心感」である。義歯の 3D データがあるだけでもいざというときにきっと役に立つと確信している。義歯利用者本人だけではなくご家族や高齢者施設の「安心」のためにもぜひ入れ歯銀行のサービスを利用して欲しい。

問合せ先

株式会社お守り入れ歯 法人番号：430001084867

電話番号：011-596-8814

E-Mail：info@omamoriireba.com URL：http://omamoriireba.com/

動画



サイト URL

